

受胎調節実地指導員認定講習に係る科目等履修生の募集について

本学看護学研究科博士前期課程助産師コースでは、令和8年度より受胎調節実地指導員認定講習を実施することとなりました。

この講習は、助産師コースに在籍する学生のほか、助産師・保健師・看護師の方であれば科目等履修制度を利用し受講することができます。

認定講習における各授業科目を修了後に各都道府県に申請し、受胎調節実地指導員として指定を受けることができます。

講習名称

受胎調節実地指導員認定講習（母体保護法第15条第二項に規定する認定講習）

実施場所

福島県立医科大学

講習科目内容

[受胎調節実地指導員認定講習科目一覧](#)

講習期間

1年（2026年4月～2027年3月）

募集人数

5名

募集期間

令和8年2月6日（金）までに出願書類を提出してください。（必着）

受胎調節実地指導員認定講習に関する照会先

福島県立医科大学 教育研修支援課 看護学部教務係

〒960-1295 福島市光が丘1番地

TEL 024-547-1806（直通）（平日9時～17時）

Eメール kyoumu2@fmu.ac.jp

令和8年度 福島県立医科大学大学院看護学研究科博士前期課程助産師コース
受胎調節実地指導員認定講習 授業科目一覧

認定基準科目	時間数	授業科目	時間数	授業内容
総 論	9	助産学特論 I	6	<ul style="list-style-type: none"> ・助産学の概念、定義、倫理、責務 ・リプロダクティブヘルスライツの概念、現状、課題、家族計画の意義と目的 ・母子保健の動向と課題（人工妊娠中絶の現状と母体に及ぼす影響）
		助産学特論 II	3	<ul style="list-style-type: none"> ・リプロダクションに関する解剖生理 ・遺伝カウンセリングにおける助産師の役割
受胎調節の基礎	5	助産学特論 II	3	<ul style="list-style-type: none"> ・生殖補助医療の実際と問題点 ・プレコンセプションケアについて
		助産診断・技術学演習 III	6	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期の生理的変化 ・進行性変化、退行性変化と必要とされるケア
受胎調節の指導	13	助産健康教育法	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導法の実際
		助産診断・技術学演習 III	10.5	<ul style="list-style-type: none"> ・産褥期のマイナートラブル ・産褥期に必要とされる保健指導
実 習	10	助産診断・技術学演習 III (学内演習)	10.5	<ul style="list-style-type: none"> ・指導案に基づき模擬患者を対象に家族計画指導を行う
計 論	2	助産診断・技術学演習 III (学内演習)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・家族計画への支援について（グループワーク）
考 査	1	考 査	4	以下4科目に関する考查の実施 1 助産学特論 I 2 助産学特論 II 3 助産診断・技術学演習 III 4 助産健康教育法
計	40	計	52	